

事業番号

2023 - 府 - 22 - 0115

令和5年度行政事業レビューシート

( 内閣府 )

事業名	青年国際交流経費			担当部局庁	政策統括官(政策調整担当)	作成責任者						
事業開始年度	昭和34年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	青年国際交流担当	参事官 田中 駒子						
会計区分	一般会計											
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	内閣府設置法(平成11年7月16日 法律第89号) 第4条第3項第35号 「国民生活の安定及び向上に関する経済の発展の見地からの基本的な政策の企画立案・推進」 及び第55号「所掌事務に係る国際協力」			関係する 計画、通知等	「子供・若者育成支援推進大綱」(令和3年4月6日 子ども・若者育成支援推進本部決定)							
政策	10. 共生社会政策			主要経費	その他の事項経費							
施策	13. 青年国際交流の推進											
政策体系・評価書URL	<a href="https://www8.cao.go.jp/hyouka/h29hyouka/kokusaikoryu/hontai.pdf">https://www8.cao.go.jp/hyouka/h29hyouka/kokusaikoryu/hontai.pdf</a>											
事業の目的 (5行程度以内)	日本と世界各国の青年との交流を通じ、「国際社会・地域社会で活躍する次世代グローバルリーダー」を育成し、社会へ輩出すること。											
現状・課題 (5行程度以内)	<p>令和の時代においては、グローバル化の一層の進展やSDGsを始めとした地球規模課題の解決に向けた取組が求められるほか、国際情勢の不確実性も高まるなどの変化も生じており、求められる次世代グローバルリーダーの人材像を改めて明確に設定する必要がある。</p> <p>また、昭和34年の事業開始時とは異なり、留学や海外旅行などの国際交流も容易になるなど、本事業の果たすべき役割も変化する中で、情報通信技術の利用の一般化等により新たな国際交流の形も拡大している。</p> <p>これまでに培ってきた内閣府事業の経験を基に、本事業の特長を失うことなく、上記の点を踏まえた令和の時代に相応しい新たな国際交流事業(令和の新事業)を創造することが求められる。</p> <p>※令和4年7月 青年国際交流事業の在り方検討会報告書(<a href="https://www8.cao.go.jp/youth/kouryu/kouryu_kenshou/arikata/pdf/houkoku1.pdf">https://www8.cao.go.jp/youth/kouryu/kouryu_kenshou/arikata/pdf/houkoku1.pdf</a>)において、上記の指摘がなされている。</p>											
事業概要 (5行程度以内)	<p>青年国際交流事業では、日本青年の海外派遣、外国青年の日本招へい、船上等での多国間交流事業を実施している。</p> <p>日本及び諸外国から選抜された青年に対して、世界的な共通課題(SDGs、DX、GX等)についての研究・ディスカッション、自国文化の紹介、産業・文化・教育施設等の視察・意見交換等の各種交流活動の機会を提供する。また、各国の代表者として、皇室の御引見を賜ったり、各国の元首級等を表敬訪問する。</p> <p>なお、令和2年度、3年度からはオンラインでの交流活動を実施し、令和4年度からは対面交流とオンラインを組み合わせたハイブリッド・プログラムも実施した。令和5年度は原則全事業で対面交流を再開するとともに、「世界青年の船」事業のプログラム内容を新たにし、地域実践活動等を実施予定である。</p>											
事業概要URL	<a href="https://www8.cao.go.jp/youth/kouryu/kouryuiigyoku.html">https://www8.cao.go.jp/youth/kouryu/kouryuiigyoku.html</a>											
実施方法	委託・請負											
補助率等	-											
予算額・執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の 状況	当初予算(A)	令和2年度	1,383	令和3年度	1,383	令和4年度	1,328	令和5年度	1,331	令和6年度要求	1,386
		補正予算(B)		▲ 1,260		▲ 1,231		▲ 768		-		
		前年度から繰越し(C)		-		-		-		-		-
		翌年度へ繰越し(D)		-		-		-		-		-
		予備費等(E)		-		-		-		-		-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)		123		152		560		1,331		1,386
執行額(G)		91		108		415						
執行率(%) =(G)/(F)		74%		71%		74%						
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/{(A)+(B)}		74%		71%		74%						

	歳出予算項目			令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)						
	(項)	(目)				重要政策推進枠:189						
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)			共生社会政策費									
		(目)	青年の船運航費	715	743							
		(目)	諸謝金	596	625							
		(目)	職員旅費	11	11							
		(目)	庁費	7	5							
		(目)	青年海外派遣旅費	1	1							
			その他	1	1							
	計(A)			1,331	1,386							
活動内容① (アクティビティ)	日本及び諸外国から選抜された青年に対して、世界的な共通課題(SDGs、DX、GX等)についての研究・ディスカッション、地域実践活動、産業・文化・教育施設等の視察・意見交換、各国の元首級等への表敬訪問、ホームステイ、自国文化の紹介等の各種交流活動の機会を提供する。											
↓												
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動目標			活動指標			単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
	国際社会青年育成事業、日本・中国青年親善交流事業、日本・韓国青年親善交流事業、「世界青年の船」事業、「東南アジア青年の船」事業の実施を通して、参加青年に対し国際交流の機会を提供する			左記5事業において、外国青年と交流を行った日本参加青年の人数		活動実績	人	-	-	-	-	-
					当初見込み	人	291	291	279	242	242	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	国際社会青年育成事業、日本・中国青年親善交流事業、日本・韓国青年親善交流事業、「世界青年の船」事業、「東南アジア青年の船」事業における各種交流活動を通して、参加青年の国際的視野が広がり、国際協調の精神やリーダーシップ力が向上すると考えられる。その効果を測るため、事業から1年後に行うフォローアップ調査における設問「事業で得たリーダーシップ能力等を発揮する具体的機会を得た」に対する肯定的な回答の割合を短期アウトカムに設定している。(短期間で効果が発現するものではないため、途中経過として参加1年後の状況を確認するもの)										
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)	成果目標		定量的な成果指標			単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6年度		
	青年国際交流事業フォローアップ調査(回収率75%以上)において、事業から1年後、「事業で得たリーダーシップ能力等を発揮する具体的機会を得た」に対する回答(①そう思う、②ややそう思う、③どちらでもない、④あまりそう思わない、⑤そう思わない)の5段階評価において、①及び②を選択した者の割合を80%以上とする。		青年国際交流事業フォローアップ調査において、事業から1年後、「事業で得たリーダーシップ能力等を発揮する具体的機会を得た」に対する影響(青年リーダー育成の自覚)を示す割合		成果実績	%	75.9	-	-	-		
					目標値	%	80	-	-	80		
					達成度	%	94.9	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	内閣府青年国際交流事業既参加日本青年フォローアップ調査報告書											
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	国際社会青年育成事業、日本・中国青年親善交流事業、日本・韓国青年親善交流事業、「世界青年の船」事業、「東南アジア青年の船」事業における各種交流活動を通して、参加青年の国際的視野が広がり、国際協調の精神やリーダーシップ力が向上すると考えられる。その効果を測るため、事業から5年後に行うフォローアップ調査における設問「事業で得たリーダーシップ能力等を発揮する具体的機会を得た」に対する肯定的な回答の割合を長期アウトカムに設定している。(短期間で効果が発現するものではないため、参加5年後の状況を確認するもの)										

成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 10年度
	青年国際交流事業フォローアップ調査(回収率75%以上)において、事業から5年後、「事業で得たリーダーシップ能力等を発揮する具体的機会を得た」に対する回答(①そう思う、②ややそう思う、③どちらでもない、④あまりそう思わない、⑤そう思わない)の5段階評価において、①及び②を選択した者の割合を80%以上とする。	青年国際交流事業フォローアップ調査において、事業から5年後、「事業で得たリーダーシップ能力等を発揮する具体的機会を得た」に対する影響(青年リーダー育成の自覚)を示す割合		成果実績	%	78.5	78.9
		目標値	%	85	85	85	85
		達成度	%	92.4	92.8	89.5	-
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績	内閣府青年国際交流事業既参加日本青年フォローアップ調査報告書						
アウトカム設定についての説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由						
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由						
事業に関連するKPIが定められている関連決定等	名称						
	URL						
	該当箇所						
事業所管部局による点検・改善							
点検結果	<p>○活動実績については、上述のとおりコロナ禍の影響によりR2年度及びR3年度はすべての事業をオンラインで実施し、R4年度は5事業中3事業はオンライン、残りの2事業では外国青年の日本招へいのみの形で実施したため、例年と比較が困難となった。なお、令和5年度は、大部分の事業で従来通りの事業再開を見込んでいる。</p> <p>○短期アウトカムの成果実績については、コロナ禍の影響により適切な値を測定できなかったものの、長期アウトカムの成果実績については、コロナ禍の影響を受けつつも、前年度とほぼ同水準を維持している。</p>					目標年度における効果測定に関する評価(令和11年度実施)	
改善の方向性	<p>○短期及び長期アウトカムの成果指標の実績向上に向け、青年が事業参加経験を生かして事後活動へ主体的に参加し、活発な事後活動が継続されるよう、プログラム内容の充実等に努める。</p> <p>○一者応礼改善に向けた取組や事業内容等の見直しを行い、経費削減を進める。</p>						
外部有識者の所見							
点検対象外							
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見							
現状通り	一者応礼の解消に向けた取り組みを行い、引き続き、効果的・効率的な事業の実施に努めること。また、効率的に執行した実績を概算要求に反映させること。						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況							
現状通り	令和5年度以降は大部分の事業において従来通りの対面交流が見込まれるところ、コロナ禍で実施してきたオンライン交流のメリットも踏まえ、引き続き、効果的・効率的な事業の実施等に努めて参りたい。						

過去に受けた指摘事項 と対応状況	公開プロセス・秋の年次公開検証(秋のレビュー)における取りまとめ
	上記への対応状況
	その他の指摘事項
上記への対応状況	

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号												
平成23年度	0134											
平成24年度	0131											
平成25年度	0092											
平成26年度	0088											
平成27年度	0095											
平成28年度	0084											
平成29年度	0088											
平成30年度	0096											
令和元年度	内閣府	-	-	0106								
令和2年度	内閣府			0107								
令和3年度	2021	府	20	0120								
令和4年度	2022	府	21	0117								

内閣府政策統括官  
(政策調整担当)  
415百万円

日本と諸外国の青年の交流により、相互理解と友好を促進し、次代を担うにふさわしい国際性を備えた健全な青年を育成することを促進

【一般競争入札(最低価格)  
・随意契約(少額)】

A. (一財)青少年国際  
交流推進センター  
10件 318.1百万円

- ・令和4年度「世界青年の船」事業(ハイブリッド)支援業務
- ・令和4年度国際社会青年育成事業に関する支援業務
- ・令和4年度「東南アジア青年の船」青年会議運営業務
- ・令和4年度青少年国際交流事業の活動充実強化における支援業務
- ・令和4年度日本・韓国～及び日本・中国青年親善交流事業のオンライン交流等に関する運営業務
- ・内閣府青年国際交流事業参加青年の選考における支援業務
- ・令和4年度「東南アジア青年の船」事業(第47回)に係る関係各国連絡会議運営支援業務
- ・令和5年度「東南アジア青年の船」事業に係る関係国とのオンライン会議の運営支援業務
- ・日本青年国際交流機構情報発信及び内閣府メールマガジン配信拡大のための支援業務

【一般競争入札(最低価格)】

B. 東武トップツアーズ  
(株)官公庁事業部  
2件 77.6百万円

- ・令和4年度「世界青年の船」事業(ハイブリッド)に係る国際航空便の手配等支援業務
- ・令和4年度国際社会青年育成事業における外国青年招へいに係る国際航空便の手配等支援業務

【一般競争入札(最低価格)】

C. 日本エス・エイチ・エル  
株式会社  
1件 2百万円

- ・青年国際交流事業参加青年の選考試験の実施及び事業効果の把握に係る請負業務

【直接】

D. 個人・法人(37名)  
13.2百万円

- ・会議出席謝金 他

【随意契約(少額)等】

E. 民間事業者(15者)  
3.8百万円

- ・令和4年度「世界青年の船」事業(ハイブリッド)に係る物品調達(消耗品等)等

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

費目・用途 （「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金額が 支出されている者について記載 する。費目と用途の双方で実情が 分かるように記載）	A.			B.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	事業費	旅費、謝金、借料、会議費、雑務費等	186.4	旅費	参加青年の国際航空券等	67.1
	人件費	担当者の人件費	76.7	手数料		3.4
	一般管理費		26	消費税		7
	消費税		29			
	計		318.1	計		77.5
	C.			D.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	事業費	ウェブテスト実施費用、webGABサンプル使用权等	2	人件費	会議出席謝金、旅費等	4.1
計		2	計		4.1	
E.			F.			
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)	
物品調達費	消耗品等	0.8				
計		0.8	計			
費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						チェック

### 支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	一般財団法人青少年国際交流推進センター	2010005002856	令和4年度「世界青年の船」事業(ハイブリッド)支援業務	169.9	一般競争契約(最低価格)	1	-	予定価格が類推されるおそれがあるため、落札率は記載していない。
2	一般財団法人青少年国際交流推進センター	2010005002856	令和4年度国際社会青年育成事業に関する支援業務	52.2	一般競争契約(最低価格)	1	-	予定価格が類推されるおそれがあるため、落札率は記載していない。
3	一般財団法人青少年国際交流推進センター	2010005002856	令和4年度「東南アジア青年の船」青年会議運営業務	44.5	一般競争契約(最低価格)	1	-	予定価格が類推されるおそれがあるため、落札率は記載していない。
4	一般財団法人青少年国際交流推進センター	2010005002856	令和4年度青少年国際交流事業の活動充実強化における支援業務	34.4	一般競争契約(最低価格)	2	-	予定価格が類推されるおそれがあるため、落札率は記載していない。
5	一般財団法人青少年国際交流推進センター	2010005002856	令和4年度日本・韓国～及び日本・中国青年親善交流事業のオンライン交流等に関する運営業務	13	一般競争契約(最低価格)	1	-	予定価格が類推されるおそれがあるため、落札率は記載していない。
6	一般財団法人青少年国際交流推進センター	2010005002856	内閣府青年国際交流事業参加青年の選考における支援業務	1	随意契約(少額)	-	-	
7	一般財団法人青少年国際交流推進センター	2010005002856	令和4年度「東南アジア青年の船」事業(第47回)に係る関係各国連絡会議運営支援業務	1	随意契約(少額)	-	-	
8	一般財団法人青少年国際交流推進センター	2010005002856	令和5年度「東南アジア青年の船」事業に係る関係国とのオンライン会議の運営支援業務	1	随意契約(少額)	-	-	
9	一般財団法人青少年国際交流推進センター	2010005002856	日本青年国際交流機構情報発信及び内閣府メールマガジン配信拡大のための支援業務	1	随意契約(少額)	-	-	
10	一般財団法人青少年国際交流推進センター	2010005002856	DeepL Pro有料IDの契約	0.2	随意契約(少額)	-	-	

B.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	東武トップツアーズ株式会社	4013201004021	令和4年度「世界青年の船」事業(ハイブリッド)に係る国際航空便の手配等支援業務	56.6	一般競争契約(最低価格)	1	-	予定価格が類推されるおそれがあるため、落札率は記載していない。
2	東武トップツアーズ株式会社	4013201004021	令和4年度国際社会青年育成事業における外国青年招へいに係る国際航空便の手配等支援業務	21	一般競争契約(最低価格)	2	-	予定価格が類推されるおそれがあるため、落札率は記載していない。

C.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	日本エス・エイチ・エル株式会社	5011201004057	青年国際交流事業参加青年の選考試験の実施及び事業効果の把握に係る請負業務	2	一般競争契約(最低価格)	1	-	予定価格が類推されるおそれがあるため、落札率は記載していない。

D

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一斉入札・一斉応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	法人A		会議出席謝金及び旅費等	4.1	その他	-	-	
2	職員B		賞金等	3.3	その他	-	-	
3	個人C		令和5年度「世界青年の船」事業地域実践活動企画会議運営業務	1	その他	-	-	
4	職員D		旅費	0.2	その他	-	-	
5	職員E		旅費	0.2	その他	-	-	
6	職員F		旅費	0.2	その他	-	-	
7	職員H		旅費	0.2	その他	-	-	
8	法人I		会議出席謝金及び旅費等	0.1	その他	-	-	
9	個人J		会議出席謝金及び旅費等	0.1	その他	-	-	
10	職員K		旅費	0.1	その他	-	-	

E

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一斉入札・一斉応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	櫻護謨株式会社	3011001008986	令和4年度「世界青年の船」事業(ハイブリッド)に係る物品調達(消耗品等)	0.8	随意契約(少額)	-	-	
2	株式会社第一文真堂	5010401017488	令和4年度「世界青年の船」事業(ハイブリッド)に係る物品調達(雑貨)	0.7	随意契約(少額)	-	-	
3	株式会社アマノ創建	7180301016605	令和4年度「世界青年の船」事業(ハイブリッド)に係る物品調達	0.6	随意契約(少額)	-	-	
4	朝日梱包株式会社	9010601040880	「令和4年度内閣府青年国際交流事業に向けた資料」の梱包・発送	0.4	随意契約(少額)	-	-	
5	宮嶋印刷株式会社	4010601038772	内閣府青年国際交流事業 2022年度募集概要ピラ	0.3	随意契約(少額)	-	-	
6	株式会社ファイブワン	4011301025714	OA機器類の購入 令和4年度第3四半期分	0.3	随意契約(少額)	-	-	
7	株式会社ステージ	3013301015869	青年国際交流事業の在り方検討会(第3回)におけるWEB会議準備等業務	0.2	随意契約(少額)	-	-	
8	扶桑速記印刷株式会社	9010001027784	青年国際交流事業の在り方検討会に係る速記料	0.1	一般競争契約(最低価格)	3	-	予定価格が類推されるおそれがあるため、落札率は記載していない。
9	広友サービス株式会社	3010401009875	海外用携帯電話・端末用Wi-Fi	0.1	随意契約(少額)	-	-	
10	有限会社創電社	4010502006218	電化製品類の購入 令和4年度第3四半期分	0	随意契約(少額)	-	-	
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	